

エコアクション21環境活動レポート

【第17回レポート】

《2024年4月1日～2025年3月31日の活動結果》

ECO活動して地球温暖化を防ぎましょう！！



河川工事には **エコパント**を

累計実績 **13,800トン！！**

2025年6月1日 作成

株式会社 真人



目 次

1	事業活動の概要	P 1 ~ P 3
2	環境経営方針	P 4
3	環境経営目標	P 5
4	環境経営計画	P 6
5	EA21実施体制	P 7
6	環境負荷の実績	P 8
7	環境経営目標の実績と評価	P 9
8	環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	P 10
9	環境経営目標	P 11
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 、並びに違反、訴訟等の有無	P 12
11	代表者による全体の評価と見直し・指示	P 12

1. 事業活動の概要

(1) 社名及び代表者名

社名：株式会社 真人
代表者名：代表取締役 山本芳弘

(2) 所在地

- ①本社 ……………長崎県諫早市飯盛町里2312-6
②真人リサイクルセンター ……………長崎県諫早市飯盛町里2149-2

(3) 環境保全活動の責任者及び連絡先

- ①環境管理責任者：取締役 山本由紀子
②連絡先：電話 0957-48-1022 FAX 0957-48-2153
e-mail : info@masato-eco.co.jp
③環境経営レポート公表 URL <http://www.masato-eco.co.jp/>

(4) 事業の内容

- ①産業廃棄物収集運搬業
②産業廃棄物中間処理業(破砕等)
廃石膏ボードを分別・破砕して、中性固化剤の原料とする。
③土木工事業、解体工事業、とび・土工事業 長崎県知事(般-5) 第13855号
登録年月日 令和5年10月9日、有効期限令和10年10月8日
④一般廃棄物収集運搬業 諫早市 諫指令第102号 有効期限 令和8年3月31日
長崎市 指令廃対第305号 有効期限 令和8年3月12日
雲仙市 雲環許可第70号 有効期限 令和8年5月7日

(5) 事業の規模

- ①資本金 …………… 4,930万円
②設立年月日 …………… 1978年11月1日

(年度は7月～翌年6月)

③事業規模	単位	2022度	2023度	2024度
売上高	百万円	197.3	139.3	195.9
製品生産量	t	4	72	235
産業廃棄物収集運搬業	t	2,926	3,009	1,303
産業廃棄物中間処理量	t	3,441	5,070	2,326
*一般廃棄物収集運搬業	t	154	143	103
製品販売量(石膏粉)	t	90	95	180
従業員数	人	11	11	11
工場面積 リサイクルセンター	m ²	144	144	144

(6) 認証・登録範囲 (当社は、全組織・全活動を対象範囲としています。)

本社：長崎県諫早市飯盛町里2312-6
真人リサイクルセンター；長崎県諫早市飯盛町里2149-2

(7) 許可の内容

1) 産業廃棄物収集運搬業

許可行政	許可番号 許可年月日 有効年月日	事業の範囲
長崎県	04200076932 令和3年5月10日 令和8年5月9日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、 ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず、 及び陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)(水銀含有ばいじん等を除く。)(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)以上8種類 (積替え・保管行為を含まない)

《収集運搬車両の種類と台数》

収集運搬車両の種類	台数
軽トラック	3台
2tロール車	3台
クラム車	1台
10tダンプ、ロール車	2台
2tクラム車	1台
7tクレーン車	1台

2) 産業廃棄物処分業①

許可の年月日	令和 5年5月29日	許可番号	長崎県 04220076932
許可の有効年月日	令和10年5月28日		

※ 許可更新中

1. 事業の種類

事業の区分 …………… 中間処理

産業廃棄物の種類

処分の方法	産業廃棄物の種類
(1) 破碎 移動式を含む	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上7種類
(2) 破碎・分別	紙くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、 がれき類(以上3種類は、廃石膏ボードに限る)

(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。)

(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2. 事業の用に供するすべての施設

①廃プラスチック類等の破碎施設(移動式を含む) (エヌケイエンジニアリング(株)製 NKE-30)

設置(保管)場所	長崎県諫早市飯盛町里2149番地2
設置年月日	平成15年5月12日
処理能力	廃プラスチック 1.8t/日 紙くず 1.8t/日 木くず 2.8t/日 繊維くず 1.8t/日 ゴムくず 3.3t/日 金属くず 1.7t/日 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず··· 13.1t/日 (稼動時間はいずれも1日あたり8時間)

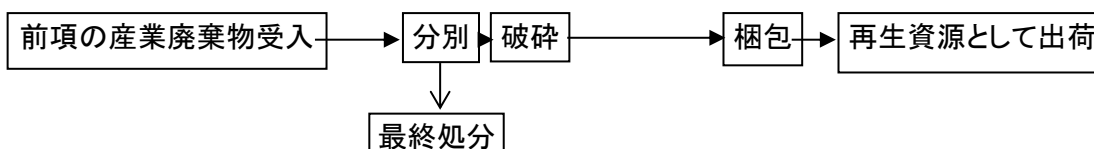
②廃石膏ボードの破碎・分別施設((株)細田企画製 HIプラスターボ)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2157番地1
設置年月日	平成29年1月17日
処理能力	4.5t/日(8時間)

③がれき類の破碎施設(アタッチメント:東空販売(株)製 イーグル小割機TM-60
ベースマシン:コベルコ建機(株)製 SK75SR)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2149番地2
設置年月日	令和元年7月16日
処理能力	23.7t/日(8時間)
許可年月日	平成31年3月28日
許可番号	420017262

(8)処理工程図



(9) 廃棄物の処理実績

(年度は、4月～翌年3月)

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量	t	2,926	3,009	1,303
中間処理量	t	3,441	7,055	2,326
再資源化量	t	1,654	1,024	1,371
最終処分量	t	725	724	521

(10) 産業廃棄物の処理料金

産業廃棄物処理料金は、廃棄物の種類・量・距離等により異なりますので、お気軽にお問合せ下さい。

連絡先: 株式会社 真人 電話 0957-48-1022

2. 環境経営方針

環境経営方針

1. 基本理念 「環境に優しい企業」

当社は、「廃石膏リサイクル品の製造及び産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理」を行う事業活動を通して、自主的、積極的に環境経営システムを継続的に改善し、環境負荷の削減に努め、低炭素社会の実現に貢献します。

2. 環境経営方針

- ①廃石膏の再資源化に取組み、環境に優しいリサイクル製品の生産及びサービスの向上を目指します。
- ②二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ③資源及びエネルギーの節約に努めます。
- ④廃棄物の削減・リサイクルに努めます。
- ⑤水使用量の削減に努めます。
- ⑥グリーン購入に努めます。
- ⑦地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- ⑧関連する法規制等を遵守します。
- ⑨環境経営目標を設定し、定期的にレビューします。
- ⑩環境経営方針は全従業員に周知徹底を図ります。

平成20年7月1日制定

2020年4月1日改定



株式会社 真人

代表取締役 山本 芳弘

3. 環境経営目標【2022年度～2024年度】

事業環境が大きく変化しており、今後の環境経営目標を見直す事にしました。

各年度の削減目標は、2021年度の実績値を基準とした削減量として策定します。

(年度は4月から翌年3月)

環境項目	単位	基準値 (2021年度)	2022年度	2023年度	2024年度
① 本業におけるエコ活動	—	—	5%増加	10%増加	15%増加
廃石膏リサイクル品の 原料販売量拡大	t	48	50	53	55
② 全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	340,130	322,790	322,790	322,790
②-1 購入電力の削減	—	—	10%削減を維持する		
	kWh	13,914	12,523	12,523	12,523
②-2 化石燃料消費量の削減	—	—	5%削減を維持する		
ガソリン	L	9,726	9,240	9,240	9,240
軽油	L	120,499	114,474	114,474	114,474
③a 受託した産業廃棄物の 最終処分量の削減	t	—	10%削減を維持する		
		1,647	1,482	1,482	1,482
③b 解体工事における環境負荷の 削減(事故、騒音・振動等による 苦情削減並びに再資源化・最終 処分量の削減)	—	2019年度か ら活動開始 する。	目標設定せず、事故及び苦情削減 並びに分別の強化による再資源化・ 最終処分量の削減に努めます。		
④ 水使用量の削減	m ³	—	10%削減を維持する		
		65	59	59	59
⑤ グリーン購入の推進	品目数	6	6	6	6
⑥ 地域における環境活動への 参加	回/年	2	2	2	2

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力令和2年度実績 調整後排出係数
0.480(kg-CO₂/kWh)を使用し算定しました。

* 大規模な解体工事がなくなり、事業の実態に合わせるため目標値を見直しました。

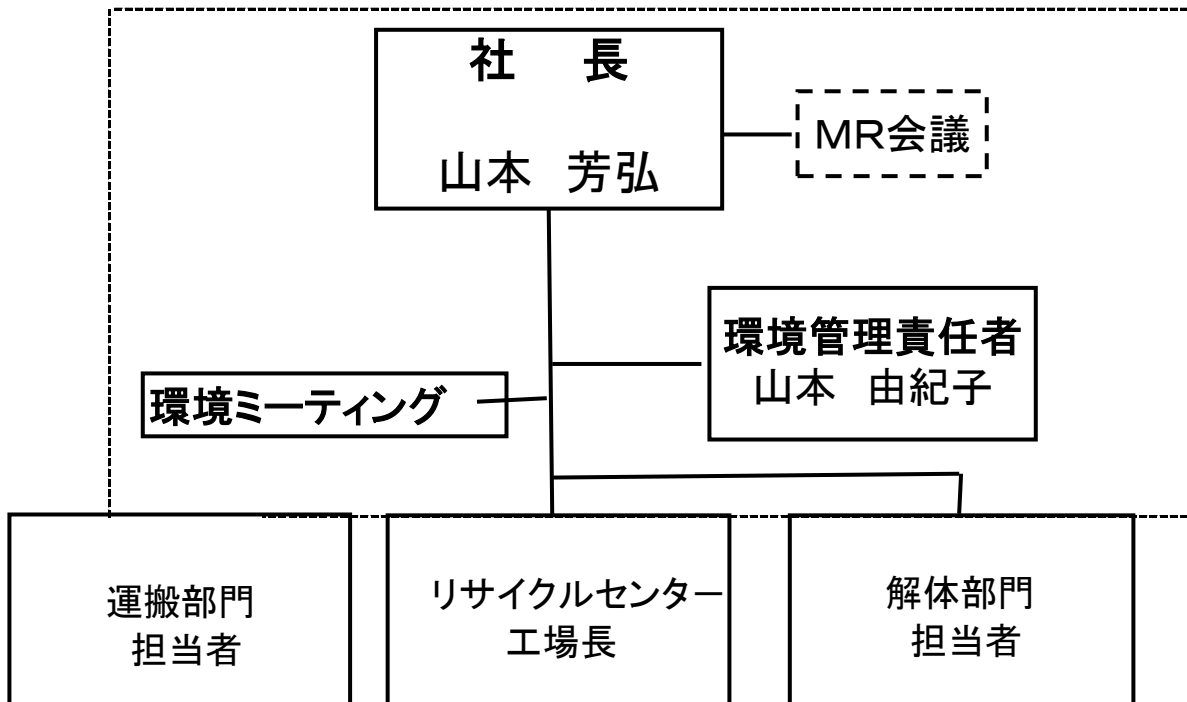
* 当社は化学物質の使用はありません。

4. 環境経営計画（2022年度～2024年度）

環境活動	担当	取組内容
① 本業におけるエコ活動 廃石膏リサイクル品の原料販売量拡大	管理責任者・工場長・従業員	① 製品の品質管理徹底、受入れ資材の管理・徹底 ② 設備の整備・点検 ③ 品質管理の教育・管理 ④ 定期的な品質試験の実施 ⑤ 気候変動キャンペーン取組(エコ活動) ⑥ グリーン購入ネットワーク取組(エコ活動) ⑦ 積極的なリサイクル品のPR、拡販活動
②-1 購入電力の削減	管理責任者・工場長	① エアコンの温度設定は夏期は28℃、冬期は20℃に設定 ② 昼休み及び不在時は照明消灯
②-2 化石燃料の削減	工場長・従業員	① アイドリングストップ ② 定期的に車両整備 ③ 効率的な運転の推進 ④ 効率的に収集運搬(リサイクルセンター) ⑤ 走行距離と供給燃料費を記録する(リサイクルセンタ
③a 中間処理後の最終処分の削減・リサイクル推進	管理責任者・工場長	① リサイクル率をあげるために分別を徹底する ② 紙使用量の削減(両面コピー、裏紙の使用)
③b解体工事における環境負荷の削減(事故、騒音・振動等による苦情削減並びに再資源化・最終処分量の削減)	・代表者・工事関係者	① 工事の計画段階での安全、騒音・振動・塵埃対策実施(低騒音型機械の採用、防音防塵シートの使用、適切な散水による防塵対策) ② 現場で発生する廃棄物の分別徹底により資源物に回す。 ③ 積込、荷卸し時に混在しないような積み方、降ろし方を工夫する。
④ 節水	工場長・従業員	① 節水を心掛ける
⑤ グリーン購入の推進	管理責任者	① 購入時の調査(HP, カタログ等)
⑥ 地域における環境活動への参加	管理責任者	① 地域と一体となって、全員参加 ② 地球温暖化防止関係イベント等参加

5. EA21実施体制

認証・登録の範囲： 当社は全組織・全活動を対象としています。



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金・情報)を準備する EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 環境経営目標、環境経営計画を作成する。 定期的に、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 上記の結果を代表者に報告する。
環境ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> 定期的を開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
EA21事務担当	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
リサイクルセンター (工場長) 解体 (環境担当)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する 環境経営目標達成のため、責任を持って部門の環境活動を推進する 部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 部門に関連する法規制等を順守する 部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 部門の教育・訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

6 環境負荷の実績

当社は、平成17年12月にISO14001の認証を取得して以来、環境への負荷の低減及び環境汚染の予防に取り組んできました。また、平成21年7月に、エコアクション21に適合する環境マネジメントシステムに移行し、引き続き環境活動に取り組んでいます。

(年度は4月から翌年3月)

環境への負荷		単位	2022年度	2023年度	2024年度	
① 全社温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO ₂	217,856	187,308	156,873	
	()	Kg-CO ₂				
② 受託した産業廃棄物の処理量排出量	収集運搬量	t	2,926	3,009	1,303	
	中間処理量	t	3,441	7,055	2,326	
	うち再資源化等量	t	1,654	1,024	1,371	
	最終処分量	t	725	724	521	
③ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化	t	0	0	0
		焼却処理	t	154	143	103
	産業廃棄物	再資源化	t	—		
		焼却処理	t	—		
④ 水使用量	上水	m ³	33	45	58	
	地下水	m ³	—	—	—	
⑤ 化学物質使用量		kg	使用せず	使用せず	使用せず	
		kg				
⑥ 物質使用量	資源使用量	t	—	—	—	
	循環資源使用量	t	—	—	—	
⑦ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t	—	—	—	
	水の利用量	m ³	—	—	—	
⑧ 総製品生産量または総商品販売量	製品生産量等(石膏粉)	t	90	95	180	
	製品販売量(石膏粉)	t	21	72	235	

*購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力,令和2年度実績,調整後排出係数0.480(kg-CO₂/kWh)を使用し算定しました。

7. 環境経営目標の実績と評価 (2024年度)

(年度は4月から翌年3月)

環境項目	単位	2021年度	2024年度		達成率%	評価
		基準値	目標	実績		
① 本業におけるエコ活動 廃石膏リサイクル品の原料販売量拡大	t	48	55	235	425.7%	○
② 全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	34,010	322,790	156,873	205.8%	○
②-1 購入電力の削減	kWh	13,914	12,523	20,050	62.5%	△
②-2 ガソリン	L	9,726	9,240	8,613	107.3%	○
②-2 軽油	L	120,499	114,474	49,933	229.3%	○
③ 受託した産業廃棄物 a の最終処分量の削減	t	1,647	1,482	521	284.5%	○
③ 解体工事における環境負荷の削減 b	—	—	工事毎に、事故、騒音・振動等による苦情削減並びに廃棄物の再資源化・最終処分量の削減を実施した。			○
④ 水使用量の削減	m ³	65	59	58	101.7%	○
⑤ グリーン購入の推進	品目数	6	6	6	100.0%	○
⑥ 地域における環境活動への参加	回/年	2	2	2	100.0%	○

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力,令和2年度実績,調整後排出係数 0.480(kg-CO₂/kWh) を使用し算定しました。

* 削減の達成率(%) = 目標 / 実績 0

評価基準の凡例: ○; 達成100%以上、△;80%以上、×;80%未満

* 当社は化学物質の使用はありません。

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

【結果評価】

活動項目		取組結果・評価		次年度の取組
①	本業におけるエコ活動 廃石膏リサイクル品の原料販売量拡大	人事の交代(新体制)で破碎ができるようになりました。目標達成できた。		エコパント製品の販路の拡大を図り、廃石膏リサイクル品の原料増産に努める。
②	二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量が少なかったため達成できた。		引き続き省エネ活動に努める。
	②-1 購入電力の削減	電力量が1.6倍であった。(年中通して増加)		引き続き節電活動に努める。
	②-2 化石燃料消費量の削減	造成工事受注。解体が少なかった。産廃も少なかった。使用燃料が少なかった。		省エネへの取組に加え収集運搬の効率化につとめる。
③a	受託した産業廃棄物の最終処分量の削減	目標の見直し。		今後も廃棄物4R活動を徹底する。
③b	解体工事における環境負荷の削減(事故、騒音・振動等による苦情削減並びに廃棄物の再資源化・最終処分量の削減)	工事毎に実施した。問題なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の計画段階での安全、騒音・振動・塵埃対策実施(低騒音型機械の採用、防音防塵シートの使用、適切な散水による防塵対策) ・現場で発生する廃棄物の分別徹底により資源物に回す。 ・積込、荷卸し時に混在しないような積み方、降ろし方を工夫する。 	
④	水使用量の削減	水使用量が多く、達成できなかった。		引き続き節水に努める。
⑤	グリーン購入の推進	目標は達成できた。		今後もグリーン購入の推進を徹底する。
⑥	地域における環境活動への参加	目標は達成できた。地域での評価も高まっている		今後も継続する

9. 環境経営目標【2025年度～2027年度】

事業環境が大きく変化しており、今後の環境経営目標を見直す事にしました。

各環境負荷の削減目標(基準値)は、2023年度の実績値を基準に策定します。

(年度は4月から翌年3月)

環境項目	単位	基準値 (2023年度)	2025年度	2026年度	2027年度
① 本業におけるエコ活動	—	—	50%増加を維持		
廃石膏リサイクル品の 原料販売量拡大	t	72	108	108	108
② 全社二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	186,084	167,475	167,475	167,475
②-1 購入電力の削減	—	—	10%削減を維持		
	kWh	12,489	11,240	11,240	11,240
②-2 化石燃料消費量の削減			5%削減を維持		
ガソリン	L	8,491	8,066	8,066	8,066
軽油	L	62,641	59,509	59,509	59,509
③a 受託した産業廃棄物の 最終処分量の削減	t	—	10%削減を維持		
		720	648	648	648
③b 解体工事における環境負荷の 削減(事故、騒音・振動等による 苦情削減並びに再資源化・最終 処分量の削減)	—	2019年度か ら活動を開 始する。	目標設定せず、事故及び苦情削減 並びに分別の強化による再資源化・ 最終処分量の削減に努めます。		
④ 水使用量の削減	m ³	—	5%削減を維持		
		45	43	43	43
⑤ グリーン購入の推進	品目数	6	6	6	6
⑥ 地域における環境活動への 参加	回/年	2	2	2	2

* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力令和4年度実績 調整後排出係数

0.382(kg-CO₂/kWh)を使用し算定しました。

* 大規模な解体工事がなくなり、事業の実態に合わせるため目標値を見直しました。

* 当社は化学物質の使用はありません。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

主要な法令	概要	遵守
産業廃棄物処理法	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物の分別、保管、収集、運搬など適正な処理を行う。	○
騒音規制法	事業活動や建設工事に伴う騒音について規制を遵守する。	○
振動規制法	事業活動や建設工事に伴う振動について規制を遵守する。	○
フロン排出抑制法	特定製品に使用されるフロン類の適正な管理を行う。	○
建設リサイクル法	特定の建設資材について分別解体、再資源化、廃棄物の適正な処理を行う。	○

当社は、環境活動の取組みの一環として、定期的に環境関連法規の遵守状況を確認しており、2025年5月22日、環境関連法規の遵守状況が評価され法令違反及び訴訟等の無いことを確認しています。

なお、過去3か年間関係当局からの違反等の指摘はありません。

2025年5月22日

環境管理責任者

山本 由紀子

11

環境責任者より、環境経営目標、環境への取組み及び、取組結果、法令の遵守状況等について報告を受け、全体的な評価を行なった。

例年と比べて造成工事受注、解体工事受注減少したため、今期は産廃量が減少しました。その結果、目標は達成しています。

今後も更なる省エネの推進及び廃石膏リサイクル製品の原料増産を目指していく。総合評価としてはエコアクション21が適切に運用されたと判断し、今後も環境負荷の削減に努めていきたい。



2025年5月22日

代表取締役

山本 芳弘